



とも
共に助け合おう

8月16日は「丹波市『心 つなぐ』防災の日」です。防災の日の制定をきっかけに、地域・家庭・事業所での防災活動が増えています。

問くらしの安全課（本庁舎内） ☎ 82 - 0250

地域での防災活動が広がる

令和元年東日本台風のように、近年、被害規模の大きい災害が頻繁に発生しています。全国で起こる大規模な自然災害を意識して、市内では、自治会・自治協議会などが主催する防災訓練や研修会の数、参加者数が増えています。内容は、風水害時の正しい知識を学ぶ防災研修や、地域住民みんなで行う避難訓練など様々です。事業所においても救助訓練などが実施され、地域の防災対策は、それぞれの地域の特徴や課題に応じて、より実践的なものに変わってきました。

- 令和元年度の自治会・自治協議会主催の防災訓練・研修（昨年度比較）
- ▼ 件数：69件（4件増）
- ▼ 参加人数：4,200人（500人増）

8月16日は「丹波市『心 つなぐ』防災の日」です

平成26年8月16日〜17日にかけての大雨は、丹波市

にこれまで経験したことのない大規模な土砂災害をもたらしました。

8月16日「丹波市『心 つなぐ』防災の日」は、6年前の災害の記憶を風化させず、改めて自分自身と大切な人の命を守る方法について考えてもらうために制定されました。この日をきっかけに、改めて防災について考えてみましょう。

■ 家族みんなを確認しよう！
できているところにチェックを入れてください。

- 自分が住んでいる地域の災害の危険性、避難所の場所が分かる
- いつ・どこに避難するか決めている
- 家族との安否確認方法を決めている
- 食料・飲料水、常備薬などの非常時持出品が準備できている

くらしの安全課では、自治会などの防災訓練・研修の実施相談を受け付けています。今年はどうなことをすればよいかなど、何でも相談ください。

災害時の避難行動を変更します

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新たな避難の方針を策定しました。災害時は、命を守る行動とともに、感染症に備えた行動をとりましょう。

1 状況に応じて安全な場所にある親せきや知人宅に避難を

避難所での密集を防ぐため、「避難＝避難所への移動」と捉えるのではなく、周辺の状況に応じて、それぞれが適切な避難行動をとってください。特に高齢者や障がい者、小さな子どもがいる人、妊婦など避難に時間がかかる人は早めに避難してください。

▼避難行動の例

- ① 自宅で2階以上の高い場所に避難する「垂直避難」
- ② 安全な場所にある親せき・知人宅へ避難

2 体調不良の場合は事前に相談を

避難所への避難が必要で、体調が悪い場合は、事前に市役所へ連絡・相談してください。状況に応じて適切な避難施設で受け入れられるよう、事前の調整や準備を行います。

3 例年より多くの避難スペースを確保しています

| 場所 | 内容 |
|-------------------|--|
| 各住民センター、ライフピアいちじま | 市が最初に開設する避難所です。今年から密集を防ぐため、和室・会議室などの部屋も利用します。プライベートルーム・簡易ベッドなどを準備する予定です。 |
| 小中学校 | 災害の状況に合わせて、必要な場合は体育館施設などを避難所として開設します。 |
| 地域づくり活動拠点施設 | 災害の状況に合わせて、各地区(小学校区)の活動拠点(交流館・コミュニティセンターなど)を避難所として開設します。 |

4 避難所には衛生用品を持ってきてください

避難所に避難する場合、マスクなどの感染予防対策の衛生用品や、就寝時の枕・タオルケットなど、身体に直接触れるものはできるだけ持ってきてください。

5 避難所での感染防止対策にご協力ください



- ① 受付で体調の聞き取りと検温をし、避難者ごとに待機場所を割り当てて指定します。
※体調の悪い人は専用スペースに案内します。
- ② 集合スペースでは、可能な限り少人数・個別空間の避難スペースを確保し、避難者ごとに指定します。
※指定された待機場所以外へ不用意に立ち入らないでください。

<注意事項>

- ・避難者同士の交流はできるだけ控えてください。
- ・避難所では、マスクの着用など咳エチケットをお願いします。
- ・十分な換気とこまめな除菌を進んで行ってください。
- ・避難所で体調が悪くなったら、必要に応じて専用スペースや医療施設に移送します。